

地図と測量のコンテンツにふれてみよう！  
 「地理院地図を使ってみよう」編 第11回 ～面積や磁北を調べてみよう～



これまで地理院地図の[ツール]の使い方を色々教えてもらったけど、まだまだ知らない機能がありそうだね。



地理院地図には便利な機能がたくさんつまっているからね。それじゃあ、これまで紹介してこなかった機能の中から2つ、紹介しよう。

ケンタ君

マップ博士



1つ目は面積じゃ。第8回 距離を測ってみようで紹介した計測機能を使って、面積を調べることができるんじゃない。

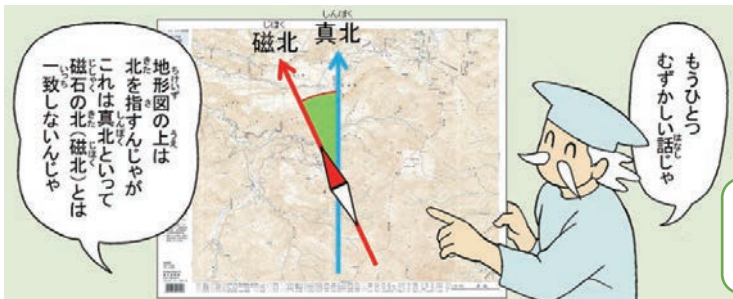
つくば駅から国土地理院までの距離を一緒に調べたよね。



複雑な形でも、地図上でなぞってだけで面積がわかるぞ。



2つ目は磁北線じゃ。同じく第8回 距離を測ってみようで紹介した、[その他]の機能を使って、磁北線を表示することができるんじゃない。少し難しい言葉じゃが、磁北についてはキッズページの真北と磁北でも説明しているぞ。



地形図の上は北を指すんじゃないか？これは真北といって磁石の北(磁北)とは一致しないんじゃない。

むずかしい話じゃ。

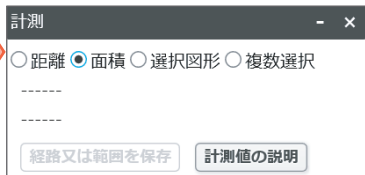
へえ！方位磁針(コンパス)の指す北を磁北っていうんだね。



そうじゃ。地図の北(真北)と、方位磁針の指す北(磁北)は同じではなく、方位磁針の指す磁北の方向を表すのが「磁北線」なんじゃ。真北と磁北の「ずれ角」は、登山中など方位磁針を使うような場面で、自分の方向を知る方法として、とても重要な情報になるんじゃない。



2つとも実際に使ってみたよ。操作も簡単だね！



地理院地図で磁北線を表示  
(ズームレベル 11以上で表示されます)